福知山市 今和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

學薬名	94 サイクル関連事業										
事業担当	所属 05050000 市民総務部 生活環境課 所属長 井上 和成										
会計情報	事業コード 540194 款 04 衛生費 項 02 清掃費 目 02 じん芥処理費 会計 01 一般会計 決算付属資料 頁										
施策体系	施策コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する										
計画期間	開始年度 平成15年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画										
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()										
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合										
関連事業											
事業基礎	青報										
事業目的 (あるべき姿)											
対象者	全市民対象者数77,122単位あたりコスト0.0										
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()										
委託先•実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター、(福)ふくちやま福祉会、(福)みつみ福祉会、㈱アクアテック、日本容器包装リサイクル協会ほか										
事業概要 (箇条書き)	リサイクルブラザに搬入された資源ごみをリサイクル事業者の引き取り条件に適合させるための中間処理を行う業務を委託する。また、それに関する施設や作業用機械等の維持管理を行う。										
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容										
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載										

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年)	度)	R	2(評価年	度)		R3(本年度	E)	R	4(要求年)	支)		
	1	当初予算			85,568			86,084			89,580					
予	2	補正予算			0			0			0					
算情	3	繰越予算			0			0			0					
報		前年度繰越			0			0			0					
		次年度繰越	C					0			0) 大 予算編成時記入				
,	小計	h(①~③)			85,568			86,084			89,580		⊦觸似時 次公表			
予	1	一般財源			58,388			59,447			63,819	,,	V 1 11.	47		
	2	国支出金			0			0			0					
算財源	3	府支出金			0			0			0					
内	4	地方債			0	0 0										
訳	⑤	その他特財			27,180			26,637			25,761					
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0		
算	2	配当予算			85,568			86,084			0			0		
情報	3	執行額			84,470		二次	公表時記載			0			0		
+HX	4	執行率			98.7%		二次	公表時記載								
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.49	/	0.00	0.29	/	0.00	0.29	/	0.00	0.00	/	0.00		
工算	2	概算人件費		3,920				2,320			2,320			0		
		・タルコスト _{纨行額+概算人件費)} 88,390					2,320			2,320			0			

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	リサイクル率		%	17.3 / 22.6	16.4	/	25.3	14.7	/	26	/	16	26
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	リサイクル量(中間処理分)	t	2,541 / 2,346	2477	/	2298	2107	/	2254	/	2167	2254
(アウトプット)		単位あたり	コスト	27.6		34.1							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

	事業担当所属内による自己		都 IT A TU +
項目	評価の観点	評価	評価の理由 ・資源ごみのリサイクル化を促進することは、市民のごみ分別意識を高め、埋立処分場の延
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		・ 貝派にかい リッインル にど に 生 することは、 印氏のこの カ 別 息酸 と 同の、 生 工 処 カ 場 の 処 命 化 に つ な が る た め 、 必 要 性 が 高 い 。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。 ・活動実績は見込みを下回った。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	Δ	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	一般廃棄物処理基本計画で示しているリ のリサイクル化施策の実行を促進させる! 		日標を達成するために、ごみの減量化及び分別排出の精度を高める啓発に努め、基本計画
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
			·分別排出の精度向上の啓発や、バイオマス燃料化等の取り組み等、効率的かつ適正な内容ついては、今後、国から提示される廃プラ処理方針に基づき、方策を進める。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
'(VI 二次評価(事業所属外による他部署評	逝)	
事後評価コメント		事業	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
 VII 評価をふま	 えた次年度事業方針		
, (= 2,3,6	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
1 37 29 (12)			
VⅢ 予算反映系			
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
1 7FWWTHA	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 12 廃棄物処理施設等運転管理委託事業 |

(単位:千円)

學来担当	所属								
会計情報	事業コード 540172 款	04 衛生費	項 02 清掃費	目 02 じん芥ダ	処理費 :	会計 01	一般会計 決算係	村属資料 頁	
施策体系	施策コード 040503 が	策名 リサイクル	とごみ処理対策を推進	する					
計画期間	開始年度 平成28年度	終了予定年度	和12年度 関連計画	名 福知山市-	一般廃棄物処	理基本記	十画		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に	関する法律、容器	リサイクル法、ダイオコ	Fシン特別措置	法				
事業区分	□ 法定受託事務 □	国府補助事業	☑ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 □ その [•]	他()	
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/何	木止 口 他事業	へ統合 口 他事業	を統合					
関連事業									
事業基礎性	青報								
事業目的 (あるべき姿)	環境パーク内のごみ焼却により、搬入された可燃・ 収資源の還元による省資	不燃ごみ及び資源	ごみ等の焼却処理、資	源化及び減量	化を行なうと				
対象者	全市民			対象者数	77,12	2	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業績	務委託 □ 指足	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他	()	
委託先•実施主体等	株式会社ファノバ 福知山								
事業概要 (箇条書き)	- 焼却施設、リサイクルプ 持管理を今後も行う。 - 3ヵ年の長期継続契約と			訂)の運転管理	を委託し、業	者のもっ ⁻	ている専門的な知	歳を生かして、安定した維	
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な	業務内容	!		
主な支出に係る 業務内容と経費									

|| 予算執行状況

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年	度)		R3(本年月	隻)	R	4(要求年	度)
	1	当初予算			148,665			142,560			145,002			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越	(0			0	T- 61		6 0.2
,	小計	h(①~③)	148,665 142,560					145,002		[編成時 次公表				
予	1	一般財源			39,974			36,638			0	,	· /	.47
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
影	⑤	その他特財			108,691			105,922			145,002			
決	1	流充用額			△ 4,082		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			144,583			142,560			0			0
惰報	3	執行額			139,175		二次	公表時記載			0			0
HX.		執行率			96.3%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.05	/	0.00	0.05	/	0.00	0.05	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		400				400			400			0
	- 一タルコスト 5 算執行額+概算人件費) 139,575						400			400			0	

		-											
成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	公害防止協定、	協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	/	0	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下
実績/目標		0		/	0	/	0	0	/	0	/	0	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	廃棄物処理量		t	22,708/ 25,020	24689	/	24620	23750	/	24584	/	24391	完全処理
(アウトプット)		単位あたり	コスト	6.1		5.6			6.0				
実績/計画				/	0	/	0	0	/	0	/	0	0
		単位あたり	コスト	0.0			•						

7 項		目 Tan / Im /	事 楽 担 当 所 偶 内 に よる 目 評価の観点	評価	評価の理由
- 7	•		・市民や社会のニーズを的確に捉えた		・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であるため、焼却処理において、法令の遵守
			事業か	_	と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施する。 できない事業か	O	
			・目的・目標の達成手段として適切で 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備 を行うことで、施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		*************************************
			・成果目標は理にかない、実績は適ち 把握・測定されているか	カに	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアした。 ・活動実績はごみ処理量としているが、計画量を下回った。 ・有効な技術等を常に研究し、運転管理に係る技術力の向上を図った。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・ 先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか		
					発生する燃やすごみの安定かつ適正な「廃棄物処理」が行なえた。 余去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。
事業0					
指標等の対する					
			廃棄物処理を安定かつ適正に処理を	行なうとともに、さ	らに効率化と経費の削減を図る。
これまで	の課	題及び			
	の方				
\/I	- 治	~~~	事業所属外による他部署	証価)	
VI -	<u> </u>	A) 1111	ず 未 川 岡 川 による 世 中 名	и (ш)	
事後許	平価コ	メント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
	• •				
lI VII ≹	評価	iをふま	 えた次年度事業方針		
	, ,,	🗴	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課				
	の見及び				予算編成に記入 (3次公表時)
下 异	要求	/1章[
VIII -	予算	反映紀			
	反映		□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予:	算拡充 □ 予算縮減
, 21			□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

1 爭未偽性															
事業名	71 ごみ収	集運搬事業	ŧ												
事業担当	所属	05050000	市民総務	部 生活環	環境課					所属:	長 井上	印成			
会計情報	事業コード	540171	款 04 律	生費	項 02 清排	帚費	目	02 じん芥ダ	処理費	会計	01 一般会	計 決算	寸属資料		頁
施策体系	施策コード	施策コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する													
計画期間	開始年度 昭和57年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画														
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律														
事業区分	□ 法定受	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()													
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 原.	止/休止	□ 他事	業へ統合	□ 他事業	を紛	合							
関連事業															
── 事業基礎帽	青報														
事業目的 (あるべき姿)					すため、市民 な生活環境を		hる	家庭系廃棄	更物(可燃、	不燃、名	容器包装プ	ラスチック	、資源ご	み、粗大ごみ	·等)
対象者	全市民						×	付象者数	77,1	122	単位は	たりコスト		0.0	
実施方法	□ 直接第	尾施 ☑	業務委託	. 🗆 :	指定管理	□ 補助金	交付	t 🗆	その他	()
委託先•実施主体等	株式会社	福知山クリー	ーンセンタ	一ほか6者	Ť										
事業概要 (箇条書き)	安定的で円滑な収集運搬を確実に行うため、適切な市民対応ができる信用・技術・経験を有する業者へ委託する。 ごみステーションの収集: 可燃・不燃・容器包装ブラ 4者、資源ごみ収集 3者 粗大ごみ等収集: 2者														

主な支出に係る 業務内容と経費

支出に係る主な費目 支出実績(R2)

二次公表時記載

主な業務内容

|| 予算執行状況

	Z	了 昇 靱 仃 1	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)
	1	当初予算	462,312	476,184	474,072	
予	2	補正予算	(0	0	
算情	3	繰越予算	(0	0	
報		前年度繰越	(0	0	
		次年度繰越	(0	0	77 Adr 455 1-10 27 7
,	小計	+(① ~ ③)	462,312	476,184	474,072	予算編成時記入 (3次公表時)
予	1	一般財源	306,736	301,645	329,848	(00(121)
	2	国支出金	(0	0	
算財源	3	府支出金	(0	0	
内	4	地方債	(0	0	
訳	(5)	その他特財	155,576	174,539	144,224	
*	1	流充用額	(二次公表時記載	0	0
決算	2	配当予算	462,312	476,184	0	0
情報	3	執行額	462,309	二次公表時記載	0	0
+HX		執行率	100.09	二次公表時記載		
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.45 / 0.05	0.38 / 0.05	0.38 / 0.05	0.00 / 0.00
工算	2	概算人件費	3,725	3,165	3,165	0
		アルコスト (預・概算人件費)	466,034	3,165	3,165	0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	年間1人当たり	Jごみ排出量	kg	154 / 146	156	/	141	152	/	138	/	192.4	138
実績/目標	分別不良によ	るごみ残し数	袋	15,533 / 7,800	16011	/	7000	20764	/	6200	/	6200	6200
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	ごみ収集量	収集量		13,312 / 12,289	13332	/	11929	13484	/	11603	/	13149	11603
(アウトプット)		単位あたり	コスト	34.4		34.7							
実績/計画	単位あたり			/	0	/	0		/	0	/		0
			コスト	0.0			•						

	事業担当所属内による自己		经在小田 中
項目	評価の観点	評価	評価の理由 ・一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、生活環境の保全のために収集業務の必要性
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		は高い。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	n 0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。・活動実績について、分別不良によるごみ残しが増加しているが、適切に分別して出しても
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	らうための指導啓発であり、繰り返すことで効果が出るとともに、危険物の混入を防止する効果もある。
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			別収集を実施し、衛生的で快適な生活環境は確保しており、目的は果している。 みは必ず出てくるが、その都度、張り紙をして残すことにより、次回から適切に分別して出して
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	パッカー車の火災事故を防止するため、	継続して分別	繰り返し張り紙を行うことにより分別の徹底を促していく。特にライターやスプレー缶等による 啓発を推進していく。 たへとシフトしていくなか、3R(特にリデュース、リユース)を呼びかけるなど、啓発していきた
これまでの課題及び	い。	100.工冶1%以	(ペング)ででいるか、SIC(INC.) 「エース、クエース)を呼びかりがある。日光のでいるだ
今後の方向性			
· VI 二次評価(事業所属外による他部署評	価)	
•			
事後評価コメント		事業	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
 Y 評価をふま	 えた次年度事業方針		
, (= 2,3,8	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
1 25 37 751			
· VⅢ 予算反映》			
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
了开及吹和木	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

1 7 7 70 1												
事業名	65 指定ごみ袋作製事	業										
事業担当	所属 05050000	市民総務部 生活環境	竟課		所属長	井上 和成						
会計情報	事業コード 540165	款 04 衛生費	項 02 清掃費	目 02 じん芥処理費	会計 01	1 一般会計 決算付	寸属資料	頁				
施策体系	施策コード 040503	施策名 リサイクル	とごみ処理対策を推進	する								
計画期間	開始年度 令和3年	開始年度 令和3年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画										
根拠法令等	廃棄物の処理及び清	棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	□ 法定受託事務] 法定受託事務 □ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()										
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃」	1 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合										
関連事業												
 事業基礎性	 青報	報 ————————————————————————————————————										
		野指定ごみ袋の導入(家庭系一般廃棄物の有料化)により、費用負担を軽減しようとするインセンティブが生まれ、ごみの排出量の抑制やリサイルの促進が期待できる。ごみの減量により、焼却施設や埋立処分場の負荷を減少させることで、延命化を図ることが可能となり、財政負担の軽減こつながる。										
対象者	全市民			対象者数 7	7,122	単位あたりコスト	0.0					
実施方法	□ 直接実施 ☑	業務委託 □ 指	定管理 □ 補助金	交付 口 その他	()				
委託先・実施主体等	作製:ミヤゲン(R2)、則	反売:福大商事ほか8										
事業概要 (箇条書き)				、平化及び住民の意識改 に販売を委託し、交付実			よる分別収集を実施	し、ま				
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		Ė	な業務内容	ř						
主な支出に係る 業務内容と経費 ・カルキ時記載												

|| 予算執行状況

	Z	了 昇 靱 仃 イ	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)
	1	当初予算	47,095	42,274	42,420	
予	2	補正予算	0	0	0	
算情	3	繰越予算	0	0	0	
報		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	C	0	0	77 Adr 455 1-10 27 7
,	小計	†(①~ ③)	47,095	42,274	42,420	予算編成時記入 (3次公表時)
₹	1	一般財源	C	0	180	(00(121)
第	2	国支出金	C	0	0	
算財源	3	府支出金	O	0	0	
内	4	地方債	C	0	0	
訳	(5)	その他特財	47,095	42,274	42,240	
決	1	流充用額	C	二次公表時記載	0	0
算	2	配当予算	47,095	42,274	0	0
情報	3	執行額	44,411	二次公表時記載	0	0
+HX		執行率	94.3%	二次公表時記載		
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.23 / 0.22	0.23 / 0.22	0.23 / 0.22	0.00 / 0.00
工算	2	概算人件費	2,390	2,390	2,390	0
		タルコスト	46,801	2,390	2,390	0

成果実績	指標		単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	年間1人当たりごみ排出量		kg	154/ 146	156	/	141	152	/	138	/	192.4	138
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	ごみ収集量(可	燃・不燃・プラ)	t	11,820 / 11,108	11879	/	10783	12056	/	10487	/	11695	10487
(アウトプット)		単位あたり	コスト	3.9		3.7							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
	単位あたりコスト		0.0										

□ □ 八評価(、	マルツノ 評価	評価の理由
	21 22 77 77 77	BT IIM	・一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、生活環境の保全のために収集業務の必要性
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		は高い。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。 ・ごみステーションに出されるごみの量が増加しているが、見合った量のごみ袋は作製さ
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	れ、確保されている。
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	一般廃棄物の減量化目標は達成できなか	ったが、排と	出量に応じた負担の公平性は確保できている。

事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
73 7 OXCIENTIN			
		=	
	緊急事態宣言等により、一時的にごみの 新しい生活様式へとシフトしていくなか、 も、持続可能な社会に寄与するものを検討	ごみ排出量	の削減のため、3R(特にリデュース、リユース)を呼びかけるほか、ごみ袋の素材等について
	で、特別の配は任本に可子するものを検討	10 (6,6/2)	v 'o
これまでの課題及び 今後の方向性			
\/I - \A\ \(\text{\text{till for } \frac{1}{2} \)	· 专举公尺划1-1-7小如罗莎/	π \	
VI — 次評価([事業所属外による他部署評値 	切)	
古体部 圧し ハー		*	\$\$\$\$[左中伏仪 - 智慧/ 与岳市要点 1. \
事後評価コメント		争习	業評価実施後に記載(対象事業のみ)
 	 えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
L			
	□現状維持□廃止/休止	 	- 算拡充 □ 予算縮減 □
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 55 リサイクルプラザ修繕事業 |

(単位:千円)

事業担当	所属 05050000 市	民総務部 生活環境	課		所属長	井上 和成				
会計情報	事業コード 540155 款	04 衛生費	項 02 清掃費	目 02 じん芥処理	費 会計 01	一般会計 決算付	属資料 頁			
施策体系	施策コード 040503 ガ	施策名 リサイクル	とごみ処理対策を推進	する						
計画期間	開始年度 平成15年度	終了予定年度	和12年度 関連計画	名 福知山市一般	廃棄物処理基本計	一				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に	こ関する法律、容器	リサイクル法							
事業区分	② は定受託事務 □ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 (
R3現在の状況	R3現在の状況 ☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合									
関連事業	ごみ焼却施設修繕事業、	<u>廃棄物処理施設等</u>	運転管理委託事業、フ	火処理施設運転・維	<u> </u>					
	 青報									
事業目的 (あるべき姿)		市民の生活から日常的に排出される廃棄物の再資源化を行なう上で、経年劣化に伴う性能低下が著しいリサイクルプラザの各機械設備部品を計画的に整備することで、リサイクルを適正に行っていく。								
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.0			
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業	務委託 □ 指足	定管理 口 補助金	交付 □ その	か他 ()			
委託先•実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	・容器包装プラスチック他の資源ごみの中間処理を行い、循環型社会の市民への啓蒙を行った。 ・法に則した資源ごみの完全な処理は、市民の快適な衛生生活を提供することとなる。 ・住民サービスの充実を図るため、機器の運転・維持管理を計上し施設の整備を行った。									
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容					
主な支出に係る 業務内容と経費										

|| 予算執行状況

	Σ	5 分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年	度)	I	R3(本年度	E)	R	4(要求年)	支)
	1	当初予算			41,959			46,077			95,947			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0		- ^=	
	小計	†(①~ ③)			41,959			46,077			95,947		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			3,959			14,277			32,247	,,	·>(N /
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			38,000			31,800			63,700			
訳	(5)	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			41,959			46,077			0			0
情報	3	執行額			36,250		二次	公表時記載			0			0
+HX	4	執行率			86.4%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.32	/	0.00	0.32	/	0.00	0.32	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		2,560				2,560			2,560			0
		マルコスト 「額+概算人件費)			38,810			2,560			2,560			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	搬入廃棄物の分別処理			完全処理	完全処理	/	0	完全処理	/	完全処理	/	完全処理	完全処理
実績/目標		0		/	0	/	0	0	/	0	/	0	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	リサイクルプラ	ザ処理量	t	4,154/3,418	3854	/	3467	4105	/	3848	/	3150	完全処理
(アウトプット)		単位あたり:	コスト	8.8		9.4		3	3120.0)			
実績/計画				/	0	/	0	0	/	0	/	0	0
		単位あたり	コスト	0.0			•						

項	日	・	評価	評価の理由
坝			ET IM	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であるため、焼却処理において、法令の遵守
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。
必	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。
効	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアし、搬入廃棄物の完全
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		処理を行った。 ・活動実績はリサイクルプラザ処理量としているが、計画量を上回った。
有	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	・有効な技術等を常に研究をした。
		·先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		施設の計画的な修繕を行うことにより、市内	で発生する	りサイクルごみの安定かつ適正な分別処理が行なえた。
	目的及び			
	達成状況に E性的評価			
		廃棄物を安定かつ適正に処理を行なうとと	もに、さらに	効率化と経費の削減を図る。
	の課題及び D方向性			
, , ,				
		一十 単一ノ ロ ロ レー しっこ ユロロユート	- \	
VI =	- 次評価(事業所属外による他部署評価 	n)	
事後評	価コメント		事業	禁評価実施後に記載(対象事業のみ)
· IV · ·	平価をふま	えた次年度事業方針		
		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当	当課の			
	の見直し 及び			予算編成に記入
	要求方針			(3次公表時)
 VIII → ∄	学算反映			
		□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
ア昇が	反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

學薬名	4 環境バーク連転・維持管理事業										
事業担当	所属										
会計情報	事業コード 540154 款 04 衛生費 項 02 清掃費 目 02 じん芥処理費 会計 01 一般会計 決算付属資料 頁										
施策体系	施策コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する										
計画期間	開始年度 平成28年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画										
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()										
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合										
関連事業	ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理施設運転・維持管理事業、リサイクルプラザ修繕事業										
── 事業基礎』	青報										
事業目的 (あるべき姿)	市民の生活から日常的に排出される廃棄物の処理を行なう上で、施設を良好な状態で維持しなければ、排出されるごみを適切に処理できない。このため、環境パークの施設を安全に保てるよう維持管理に努め市民生活の安全安心を図る。										
対象者	全市民 対象者数 77,122 単位あたりコスト 0.3										
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()										
委託先•実施主体等	(株)福知山クリーンセンター、福知山環境事業協同組合 他										
事業概要 (箇条書き)	・平成12年度より燃やすごみを処理するために、現在のごみ焼却施設の稼動を初め、またリサイクルブラザは平成15年度より稼動を始め、「福知山市環境パーク」として約20年が経過している。 ・ごみ処理は、市民生活に密着したライフラインの一部であり、法に則した燃やすごみの完全な処理が、市民の快適な衛生生活を提供することとなる。住民サービスの充実を図るため、機器の運転・維持管理必要な施設の整備を行った。										
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容										
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載										

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年	度)		R3(本年度	₹)	R4	(要求年)	支)	
	1	当初予算			209,551			215,606			237,173				
予	2	補正予算			0			0			0				
算情	3	繰越予算			0			0			0				
情報		前年度繰越			0			0			0				
		次年度繰越			0			0			0			6 0. 3	
,	小計	h(①~③)			209,551			215,606			237,173		「編成時 次公表		
予	1	一般財源			80,521			58,349			0	2 (3次公表時) 0			
算	2	国支出金			0			0	0						
財源	3	府支出金			2,160			2,035			2,035				
内	4	地方債			0			0			5,700				
別	⑤	その他特財			126,870			155,222			229,438				
決	1	流充用額			4,046		二次	公表時記載			0			0	
算	2	配当予算			213,597			215,606			0			0	
情 報	3	執行額			211,943		二次	公表時記載			0			0	
ř	4	執行率			99.2%		二次	公表時記載							
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	3.00	/	2.90	1.98	/	2.90	1.98	/	2.90	0.00	/	0.00	
工算	2	概算人件費		31,250				23,090			23,090			0	
		タルコスト f額+概算人件費)			243,193			23,090			23,090			0	

17 米級和水	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
	公害防止協定、協定値の遵守			協定値以下	協定値以下	/	0	協定値以下	/	協定値以下	/ 協定値以下		協定値以下
実績/目標		0		/	0	/	0	0	/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	廃棄物処理量(焼却	, リサイクルプラザ)	t	22,708/ 25,020	24689	/	24620	23750	/	24584	/	24391	完全処理
(アウトプット)		単位あたり	コスト	9.4		8.6		9	200.0				
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

マ 項	月	、	ディルン 評価	評価の理由
74	P	21.22	at im	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であるため、焼却処理において、法令の遵守
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。
必	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。
効	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアした。・活動実績はごみ処理量としているが、計画量を下回った。・有効な技術等を常に研究し、運転管理に係る技術力の向上を図った。
有	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
				受生する燃やすごみの安定かつ適正な「廃棄物処理」が行なえた。 余去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。、
	目的及び			
	達成状況に 2性的評価			
		廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行な ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	うとともに、さ	らに効率化と経費の削減を図る。
	の課題及び の方向性			
	- 12. ibre 1 1	(- \	
VI =	- 次評価([事業所属外による他部署評位 	b)	
事 後評	価コメント		車車	禁門価実施後に記載(対象事業のみ)
于政即	ДЩ—72 Г		ਰ ਾਨ	には 一大ル5 久(~6 日 4 4 く)が、子 木マンンド/
· IV	平価をふま	えた次年度事業方針		
		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課の の見直し			
1	及び 要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
<u> VIII 3</u>	了算反映	結果		
予算是	支映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
		□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

□ 指定管理

・第1期・第2期埋立処分場隣接地に、第4期埋立処分場の整備を行うための基本設計を実施した。

(単位:千円)

事業属性															
事業名	48 第4期坦	里立処分場	整備事業												
事業担当	所属	所属 05050000 市民総務部 生活環境課 所属長 井上 和成													
会計情報	事業コード	540148	款 04 衛	生費	項 02 清	掃費	目	02 じん芥タ	の理費 しゅうしゅう	会計	01 —	·般会計	決算付属資	資料	頁
施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイク	ルとごみ処	理対策を推進	≛する	1							
計画期間	開始年度	令和2年	度 終了	予定年度	令和11年度	関連計画	ī名 ·	一般廃棄物	勿処理基本	計画、福	副知山	市循環型	빌社会形成	推進地域計	画
根拠法令等	廃棄物の処	処理及び清	掃に関する	る法律											
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府社	輔助事業	□ 市単	独事業 口	内部	邓庶務的事	業 口 その	D他	()
R3現在の状況	□ 継続中	□ 廃」	止/休止	□ 他事	業へ統合	□ 他事業	を統	合							
関連事業															
事業基礎	青報														•
	既設埋立処	処分場が約	10年後に	は全て埋む	なが完了する	るため、第1其	月·第2	2期埋立処	分場隣接に	第4期均	里立処	:分場の3	整備を行う。	0	
事業目的															
(あるべき姿)															
対象者	全市民						対	象者数	77,	122	单	単位あたり	ノコスト	0.0	

□ 補助金交付

事業概要 (箇条書き)

実施方法

委託先•実施主体等

□ 直接実施

キタイ設計株式会社

支出に係る主な費目 支出実績(R2)

☑ 業務委託

主な業務内容

□ その他

主な支出に係る 業務内容と経費

二次公表時記載

|| 予質執行状況

	Z	了昇靱仃1 【 分		平価前年	度)	R	2(評価年	度)	F	83(本年月	E)	F	4(要求年	度)
	1	当初予算			0			61,817			40,385			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			△ 61,432			61,432			
報		前年度繰越			0			0			61,432			
		次年度繰越			0			△ 61,432			0		吹 经	en 1
,	小計	†(①~ ③)			0			385			101,817		單編成時 3次公表	
予	1	一般財源			0			48,337			3,052		->,	~47
第	2	国支出金			0			13,480			13,333			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			24,000			
訳	(5)	その他特財			0			0			0			
*	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0
決算		配当予算			0			385			0			0
情報	3	執行額			0		二次	公表時記載			0			0
+HX		執行率			0.0%		二次	公表時記載						
人概	1	(正職員/嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.28	/	0.00	0.28	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		0				2,240			2,240			0
		タルコスト			0			2,240			2,240			0

成學字績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
成果実績 (アウトカム)	埋立量確保		m³	0	0	/	0	0	/	0	/	0	20万㎡
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	工事等請負契	約率	%	0	0	/	0	1	/	1	/	2	100
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0		0.0							
実績/計画				0	0	/	0	0	/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0		0.0							

7 項			● 業 担 当 所 偶 内 による目 で 評価の観点	コード 評価	評価の理由
- 7	•		・市民や社会のニーズを的確に捉えた		・一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の確保の必要性は高く、整備に向けて
			事業か		基本設計を行った。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施するこ できない事業か	ک ^ا 0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・当該処分場用地は確保されており、有効に利用することで新たな処分場用地の確保に係るコスト削減を図る基本設計とした。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切 把握・測定されているか	15	・成果目標、活動目標については各年度の予定事業を実施し、段階的に埋立処分場の整備を行い、埋立量の確保を図ることとした。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			第4期埋立処分場の整備を行うため、 	を おいま とり とう	児影響評価調査を行つた。
事業の 指標等の					
対する					
			第1期・第2期埋立処分場の嵩上整備を 	宇施し、埋立処	分場の残余量を確保しながら事業を進める必要がある。
これまで	の課	顧及び			
	の方				
VI J	二次	評価(事業所属外による他部署語	平価)	
+ 48				*	
事後許	十四一	シント		尹未	評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 🛊	評価	iをふま	えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担	当課	Ø.			
事業	の見 及び	直し			予算編成に記入
	要求				(3次公表時)
VIII -	予算	反映紀			
	反映		□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
r 91	-X-100	мж	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

| 事業属性

事業名 42 水処理施設運転·維持管理事業 事業担当 所属 05050000 市民総務部 生活環境課 所属長 井上 和成 会計情報 事業コード 540142 款 04 衛生費 項 02 清掃費 会計 01 一般会計 決算付属資料 目 02 じん芥処理費 施策コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する 施策体系 計画期間 開始年度 平成28年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画 根拠法令等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 事業区分 □ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 R3現在の状況 ☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合 関連事業 ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理施設運転・維持管理事業

事業基礎作	青報							
事業目的	福知山市環境パーク及びいる。その施設で処理され を遵守しなければならない 適切な施設管理を図ること	ιた浸出水は、放流 \。そのため、水処 ³	水として河川放流を	るが、その放	流水質は、法令の排出	基準及び環境保全	協定に定められた	基準
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	定管理 🗆 補助金	交付 口	その他()
委託先·実施主体等	(社)福知山市シルバー人	、材センター、(株)フ	アクアテック 他					
事業概要 (箇条書き)	・不燃物埋立処分場から な稼動の維持管理を行っ		出水)を、公共水域基	準及び公害防	止協定値以下まで処ま	里するため浸出水処	理施設の安定かつ	確実
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	}		
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	· :載			

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年	度)	ı	3(本年度	()	R	4(要求年)	支)
	1	当初予算			39,086			35,646			86,233			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	7.0		80 T
,	小計	+(① ~ ③)			39,086			35,646			86,233		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			16,780			9,334			0	,,	V 1 11.	N /
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			34,500			
脳	⑤	その他特財			22,306			26,312			51,733			
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			39,086			35,646			0			0
情 報	3	執行額			37,880		二次	公表時記載			0			0
ŦIX		執行率			96.9%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.21	/	0.00	0.32	/	0.00	0.32	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		1,680		·		2,560			2,560			0
		マルコスト f額+概算人件費)			39,560			2,560			2,560			0

Ⅳ 業績指標

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	公害防止協定、	協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	/	0	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下
実績/目標		0		/	0	/	0	0	/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	放流水量		t	77,127/ 120,450	80926	/	120450	51682	/	120450	/	120450	120450
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.6		0.5			0.6				
実績/計画				/	0	/	0	0	/	0	/	0	0
		単位あたり	コスト	0.0									

(単位:千円)

□ ▼ 一次評価(、事業担当所属内による自己室 評価の観点	ド1曲) 評価	評価の理由
坝口		AT 1MI	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。・活動実績は水処理施設の処理能力に対しての放流水量としているが、下回っている。・有効な技術等を常に研究した。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	排水基準及び公害防止協定を遵守するた施設の適正管理を行うことにより公害防止水処理施設放流水の排出基準及び公害防	協定の排水	基準を守るうえで有効である。
事業の目的及び			
指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	今後も排水基準及び公害防止協定を遵守 	するため水	処理施設の適正管理を行なう必要がある。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
) // >2- 3mm hm /		- \	
VI 二次評価([事業所属外による他部署評価 	h)	
事後評価コメント		事業	詳価実施後に記載(対象事業のみ)
' V∥ 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映系	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 40福知山市-般廃棄物処理基本計画策定事業

(単位:千円)

于 未12	0 個別山川 阪院未物処理基本計画東た事未										
事業担当	所属 05050000 市民総務部 生活環境課 所属長 井上 和成										
会計情報	事業コード 540140 款 04 衛生費										
施策体系	施策コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する										
計画期間	開始年度 令和2年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画										
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()										
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合										
関連事業											
事業基礎	青報										
事業目的 (あるべき姿)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条に基づき一般廃棄物処理基本計画を策定。										
対象者	全市民対象者数77,122単位あたりコスト0.0										
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()										
委託先·実施主体等	(キタイ設計株式会社京都支社)										
事業概要 (箇条書き)	・福知山市一般廃棄物処理基本計画作成業務を委託。 ・福知山市一般廃棄物処理基本計画検討(諮問・答申)のため、福知山市環境審議会を開催。 ・パブリックコメントの実施。 ・福知山市議会への上程。										
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容										
主な支出に係る 業務内容と経費	一份从事時智數										

|| 予算執行状況

<u> </u>	2	了异乳仃1 【 分		评価前年	度)	R	2(評価年)	度)	R	3(本年度	Ē)	R	4(要求年	度)
		当初予算			0			4,385			1,200			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	TF 4	or 400 cm² n±	6 7.7
,	小計	†(①~ ③)			0			4,385			1,200	7º] ()	ቑ編成時 3次公表Ⅰ	記人 詩)
予	1	一般財源			0			4,385			1,200			.47
第	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	(5)	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0
算		配当予算			0			4,385			0			0
情報	3	執行額			0			公表時記載			0			0
TIA.		執行率			0.0%		二次	公表時記載						
人概	1	(正職員/嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.41	/	0.00	0.41	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		0				3,280			3,280			0
		タルコスト 〒額+概算人件費)			0			3,280			3,280			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	計画策定進捗	率	%	0	0	/	0	100	/	100	/	100	100
実績/目標		0		0	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動車績	審議会開催		回	0	0	/	0	3	/	3	/	0	3
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0		0.0							
実績/計画	印刷製本		回	0	0	/	0	0	/	0	/	1	1
		単位あたり	コスト	0.0		0.0							

項目	評価の観点	評価	評価の理由
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた		廃棄物の処理及び清掃に関する法律により市町村に義務づけられたものである。
	事業か	_	
必要性	できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		コスト削減や効率化を図るため、業務委託により実施している。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		府内市町村・一部組合に対し、廃棄物施策に関するアンケートを実施し、先行事例の把握、 本市との比較を行い、計画策定に生かしている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	令和3年3月に計画策定を完了した。		
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	令和3年度は計画の製本を行う。		
	計画に基づいて、本市の廃棄物行政を進め	て行く。	
これまでの課題及び 今後の方向性			
	_ (事業所属外による他部署評価)	
事後評価コメント		事業	禁評価実施後に記載(対象事業のみ)
	<u> </u> えた次年度事業方針		<u> </u>
All 84.1m.5/2/5	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し			予算編成に記入
及び 予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映系			
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 38ごみ焼却施設修繕事業 38ごみ焼却施設修繕事業

(単位:千円)

事業担当	所属
会計情報	事業コード 540138 款 04 衛生費 項 02 清掃費 目 02 じん芥処理費 会計 01 一般会計 決算付属資料
施策体系	施策コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する
計画期間	開始年度 平成28年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法
事業区分	☑ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 (
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合
関連事業	
■ 事業基礎性	青報
	平成12年度から稼動している焼却施設の各機械施設及び電気設備を計画的に改修、整備することで、法令及び公害防止協定の遵守するとともに、施設の延命化を図り廃棄物の適正処理を行う。
対象者	全市民 対象者数 77,122 単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 (
委託先•実施主体等	
事業概要 (箇条書き)	・福知山市内からの燃やすごみを、法令及び公害防止協定を遵守し、適正かつ安全に焼却処理を行った。 ・市民サービスの充実を図るため、ごみ焼却施設の設備の維持修繕を行った。
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年	度)		R3(本年)	隻)	R	4(要求年	度)
	1	当初予算			75,500			85,390			136,253			
予	2	補正予算			20,000			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0		÷ ^=	#
	小計	h(1)~(3)			95,500			85,390			136,253		算編成時 3次公表Ⅰ	
予	1	一般財源			9,700			21,990			37,653	, v	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-47
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			85,800			63,400			98,600			
訳	(5)	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			95,500			85,390			0			0
情報	3	執行額			94,830		二次	公表時記載			0			0
+HX	4	執行率			99.3%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.49	/	0.00	0.52	/	0.00	0.52	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		3,920		·		4,160			4,160			0
		タルコスト 行額+概算人件費)						4,160			4,160			0

成果実績	指	指標		H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	公害防止協定、協定値の遵守			協定値以下	協定値以下	/	0	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下
実積/目標	実績/目標 0			/	0	/	0	0	/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	ごみ焼却量	t		18,554/ 15,289	17586	/	14204	17780	/	17577	/	17325	12644
(アウトプット)		単位あたり	コスト	2.9		5.4			4.1				
実績/計画				/	0	/	0	0	/	0	/	0	0
		単位あたり	コスト	0.0									

□ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	事業担当所属内による自己評評価の観点	神の	評価の理由
7, 1	W. 12-11 11-11	MI, IM	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ焼却量としているが計画値を上回った。 ・有効な技術等を常に研究した。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			機やすごみの安定かつ適正な「ごみ焼却」が行なえた。 除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	 ごみ焼却を安定かつ適正に処理を行なうとと	-±.1- +>	に効率化と終患の削減を図る
	,が一中でヌたが、ノ胆エに地圧で打なりCC	- いに、でり	IP///구 ID으면 용보이 IP/에 보고 IP/에 IP/에 IP/에 IP/에 IP/에 IP/에 IP/에 IP/에
これまでの課題及び 今後の方向性			
/ EX-V/J [17] III			
	 事業所属外による他部署評価	`	
VI 一人計価(オポ川崎川による心即有許伽	,	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
 VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映系			
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予:	算拡充 □ 予算縮減
1 2T-00-10-114-10-1	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 31 3R(スリーアール)推進事業

(単位:千円)

事業担当	所属	
会計情報	事業コード 540131 款 04 衛生費 項 02 清掃費 目 02 じん芥処理費 会計 01 一般会計 決算付属資料	頁
施策体系	施策コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する	
計画期間	開始年度 令和3年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
事業区分	□ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合	
関連事業		
 事業基礎性	情報	
事業目的 (あるべき姿)	家具等の修理再生品の販売及びリサイクル体験教室を通じて、3R(スリーアール)のリデュース(ごみを減らす)・リユース(くり返し使う)・リサイク源として再生利用する)に対する市民の意識向上を図り、多くの市民が3Rに取り組むことで、循環型社会形成の意識が向上した社会を実現す	
対象者	全市民対象者数77,122単位あたりコスト0.0	
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()
委託先·実施主体等	公益社団法人福知山市シルバー人材センター・エコ美遊	
事業概要 (箇条書き)	1 環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を、修理再生し、リサイクルプラザで展示販売する。 ①展示販売品 ②修理再生家具の販売 ③衣類などの無償譲渡 2 環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を活用し、リサイクルプラザ2階の体験コーナーで、3Rの重要性について学習後、実際 ラス細工や布リフォームなどを体験してもらい、家庭や地域などで学んだ技術を活用してもらう。	にガ
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容	
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載	

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年	度)	ı	R3(本年原	₹)	R	(要求年)	支)
	1	当初予算			2,560			4,114			2,567			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算		0 0						0				
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	TP 84		80 T
,	小計	h(①~③)			2,560			4,114			2,567		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			844			2,449			907	,-		
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			1,280			1,262			1,308			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	(5)	その他特財			436			403			352			
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			2,560			4,114			0			0
情 報	3	執行額			2,526		二次	公表時記載			0			0
TA.	4	執行率			98.7%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.10	/	0.30	0.14	/	0.30	0.14	/	0.30	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		1,550				1,870			1,870			0
	トータルコスト (予算執行額+概算人件費)				4,076			1,870			1,870			0

成果実績	指標		指 標 単位 H30		R1			R2			R3		最終目標
(アウトカム)	リサイクル率		%	17.3 / 22.6	16.4	/	25.3	14.7	/	25	/	16	25
実績/目標	一人当たりごみ排出量		kg	154 /146	156	/	141	152	/	138	/	192.4	138
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	家具等の販売	数	点	281/320	320	/	320	293	/	320	/	320	320
(アウトプット)		単位あたり:	コスト	9.7		7.9							
実績/計画	体験教室参加	数室参加者数 人		582 /660	472	/	660	423	/	660	/	660	660
	単位あたり		コスト	4.7		5.4							

	事業担当所属内による自		を ケーカー
項目	評価の観点	評価	評価の理由 ・体験教室や家具販売には毎回多くの申込みがあり、ニーズはある。リサイクル啓発が目的
	・市民や社会のニーズを的確に捉え† 事業か	Έ	であり、営利目的の事業者が実施するには適さない事業である。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施する。 できない事業か	ا O	
	・目的・目標の達成手段として適切で 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・環境パークはリサイクル可能なものが豊富に集まり、効率よくリサイクル品の提供やリサイクル教室が行える。委託先は、営利を目的としない団体である。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか	R	
	・成果目標は理にかない、実績は適ち 把握・測定されているか	刀に	・ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。 ・他市との比較では、近隣では最も活発にリサイクル体験教室を実施している。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか		
	・修理再生家具等の販売及びリサイク 	7ル体験教室は、	毎年多くの申込みや参加者があり、市内では数少ないリサイクル啓発の場となっている。
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	• 市民のリサイクル音識の向 ト を促す	ニレが日的である	ということを意識しながら、事業を進める必要がある。
	・リサイクル品の販売数や体験教室参	別者数が目的で	はなく、啓発効果の大きさが重要であり、本事業に参加した市民がごみ減量化及びリサイク より体験教室の冒頭に、教室の目的や3Rの重要性について、映像教材により学習してもらう
	講習を行っている。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	NAME OF STREET OF STREET OF STREET OF STREET
これまでの課題及び 今後の方向性			
VI 二次評価(事業所属外による他部署	評価)	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
 VII 評価をふま	 えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し			
及び			予算編成に記入
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
予算要求方針			
	吉果 □ 現状維持 □ 廃止/休止		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

福知山市 令和3年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

	學薬名	23 第1期•第	2期処分場	;埋立整備事	≩業												
	事業担当	23 第 1 期 · 第 2 期 処 分場理 立 整備 事 業															
	会計情報				04 衛生費 項 02 清掃費 目 02 じん芥処理費 会計 01 一般会計 決算											5料	頁
	施策体系	施策コード 04			サイクルとご), O) X	CTA	Δ,	11 01	мді	41 //	7-13/12/5	641	, A
					年度 令和1:		連計画名		(灰 森 州	加加田甘	★計画	カラ 左巾	山士海野	二 开リ ナナ・	ᄼᄡᄼᆉ	推進地域計画	「答っ押」
	計画期間					3 牛及	建計画1	I IN	() () () ()	がた 任 圣	平 計四	、他和	田川旭玖	老尘社:	云 I D 队 1	在连地域計画	【
	根拠法令等	廃棄物の処理					_										
	事業区分	□ 法定受託	事務 🗸] 国府補助	事業 🗵	市単独事	業 口 [内部 庶 和	務的事	業 口 -	その他	()
F	83現在の状況	☑ 継続中	□ 廃止/	′休止 □	他事業へ紛	合 口	他事業を	·統合									
	関連事業																
Ш	事業基礎	青報															
	事業目的 (あるべき姿)	逼迫状態の	下燃物埋立	処分場にお	いて、第1期・	・第2期エリ	アの埋め					ペーク全					
	対象者	全市民						対象	者数	7	7,122		単位あ	たりコス	スト	0.0	
	実施方法	☑ 直接実施	口業	務委託	□ 指定管	理 🗆	補助金	を付		その他	()
委託	f.先·実施主体等																
	事業概要 (箇条書き)	·第1期·第2 埋立面積4,50			事を進めてい 拡大	ବ											
		支出に係る	主な費目	支出実統	責(R2)						主な業績	務内容					
	を な支出に係る は務内容と経費					二次公表時記載											
III	予算執行	犬況															
	予算執行		評価前年周	篗)	F	₹2(評価年	度)			R3 (本年度	E)			R4(要求年度)	
			評価前年月	隻)		R2(評価年		0,000		R3 (本年度		4,000		R4(要求年度)	
予	区分		評価前年月			₹2(評価年		0,000		R3(本年度		74,000		R4(要求年度)	
予算	区 分 ① 当初予算		評価前年月	C)	R2(評価年				R3(本年度		_		R4(要求年度)	
予	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算		評価前年月	C)	₹2(評価年		0		R3(本年度		0		R4(要求年度)	
予算情	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算		評価前年月	0)	R2(評価年		0		R3 (本年度		0		R4(要求年度)	
予算情報	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越		評価前年月	0 0 0 0		R2(評価年	10	0 0 0		R3 (本年度	17	0 0 0		予算	編成時記入	
予算情報	区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③)		評価前年月	0 0 0 0 0		R2(評価年	1(0 0 0 0,000		R3 (本年度	17	0 0 0 0 4,000		予算		
予算情報	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源		評価前年月	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		R2(評価年	1(0 0 0 0,000		R3 (本年度	17	0 0 0 0 4,000 8,934		予算	編成時記入	
予算情報	区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金		評価前年月	0 0 0 0 0 0		R2 (評価年	1(0 0 0 0,000 2,500		R3 (本年度	17	0 0 0 0 4,000 8,934 4,666		予算	編成時記入	
予算情報 予算財源	区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越次年度繰越り計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金		評価前年月			R2(評価年	10	0 0 0 0,000 2,500 0		R3 (本年度	17 17 17 1	0 0 0 0 (4,000 8,934 (4,666 0		予算	編成時記入	
予算情報 予算財源内	区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度線越次年度線越次年度線越次年度線域 小計(①~③)) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債		評価前年月			R2(評価年	10	0 0 0 0,000 2,500 0		R3 (本年度	17 17 17 1	0 0 0 0 4,000 8,934 4,666 0		予算	編成時記入	,
予算情報 予算財源	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算		評価前年月				10	0 0 0 0,000 2,500 0 0,7,500		R3 (本年度	17 17 17 1	0 0 0 0 4,000 8,934 4,666 0 0,400		予算	編成時記入	
予算情報 予算財源内訳 決	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 次年度線越 の計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額		評価前年月				1(0 0 0 0,000 0,500 0 0 7,500 0		R3 (本年度	17 17 17 1	0 0 0 14,000 8,934 14,666 0 0,400 0		予算	編成時記入	0
予算情報 予算財源内訳 決算	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 が中度繰越 次年度繰越 次年度線越 次年度線越 次年度線越 次年度線越 次計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算		評価前年月			二次	1(1(2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0 0 0,000 0,500 0 0,7,500 0		R3 (本年度	17 17 17 1	0 0 0 14,000 8,934 4,666 0 0,400 0		予算	編成時記入	0
予算情報 予算財源内訳 決算情	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算		評価前年月			二次	1(1 2 2 2 3 4 4 4 4 5 6 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	0 0 0 0,000 2,500 0 0,7,500 0 記載		R3 (本年度	17 17 17 1	0 0 0 14,000 8,934 14,666 0 0,400 0		予算	編成時記入	0
予算情報 予算財源内訳 決算	 図 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行率 	R1				二次	1(/ / /公表時 / /公表時	0 0 0 0,000 2,500 0 7,500 0 0 記載 0,000				177 177 1 4 4	0 0 0 4,000 8,934 4,666 0 0,400 0		予算:	編成時記入 文公表時)	0 0
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 が年度繰越次年度繰越次年度線域の では		評価前年月			二次	1(1 2 2 2 3 4 4 4 4 5 6 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	0 0 0 0,000 2,500 0 7,500 0 0 記載 0,000	0.7		/本年度	17 17 17 1	0 0 0 4,000 8,934 4,666 0 0,400 0	0.0	予算	編成時記入 文公表時)	0
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越次年度繰越次年度線越次年度線域 ○ 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行率 ③ 執行率 ④ 執行率	R1				二次	1(/公表時 (公表時 0.0	0 0 0 0,000 2,500 0 7,500 0 0 記載 0,000	0.1			177 177 1 4 4	0 0 0 4,000 8,934 4,666 0 0,400 0	0.0	予算:	編成時記入 文公表時)	0 0
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 が年度繰越次年度繰越次年度線域の では	R1	/		0.13	二次	1(/公表時 1(/公表時 /公表時 0.0	0 0 0 0,000 0,000 0 0,7,500 0 0 1記載 0,000 記記載	0.1			177 177 1 4 4	0 0 0 14,000 8,934 14,666 0 0,400 0	0.	予算:	編成時記入 文公表時)	0 0 0
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③)) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行審 ② 配当予算 ③ 執行審 ② 概算人件費 一タルコスト	R1	/	0.000	0.13	二次	1(/公表時 1(/公表時 /公表時 0.0	0 0 0 0,000 0,000 0 0 7,500 0 1 記載 0,000 記載 0,040	0.1			177 177 1 4 4	0 0 0 0 4,000 8,934 4,666 0 0,400 0 0	0.	予算:	編成時記入 文公表時)	0 0 0
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予額 ④ 執手職員数 (正既長 (集長民職)) ② 概算人件費 一タル場行級+概算人件費 「タル・機算人件費	R1	/	0.000	0.13	二次 二次 /	1(/公表時 1(/公表時 /公表時 0.0	0 0 0 0,000 0,000 0 0 7,500 0 1 記載 0,000 記載 0,040	0.			177 177 1 4 4	0 0 0 0 4,000 8,934 4,666 0 0,400 0 0	0.	予算:	編成時記入 文公表時)	0 0 0 0 0 0 0
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度線越次年度線越次年度線越次年度線域 小計(①~③)) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行額 ④ 執事職員数 (銀表を開発) ② 概算人件費 一タルサー執行額+概算人件費)	0.00	/ 0	0.00	0.13	二次 二次 二次 /	1(/公表時 1(/公表時 /公表時 0.0	0 0 0 0,000 0,000 0 0,7,500 0 0 1,500 0 1,500 0 0,000 1,040	0.1		/	177 177 1 4 4	0 0 0 0 4,000 8,934 4,666 0 0,400 0 0		予算:	編成時記入 欠公表時) / 0	0 0 0 0 0 0
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 が年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方(個特財 ① 流充用額 ② 配当有 第 ③ 執行率の場所を開発 ② 概算入件件費 一条が開発機関を関する。 ② 概算人件件費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R1(/ 0	CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	0.13	二次 二次 / / 0 7万	1(2公表時 1(2公表時 0.0	0 0 0 0,000 0,000 0 7,500 0 0 記載 0,000 記載 0,040		13	/ /	177	0 0 0 0 4,000 8,934 4,666 0 0,400 0 0	R3	予算:(32	編成時配入 文公表時) / 0	0 0 0 0 0 0
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	区分 ① 当初下予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充当額 ② 配手の機等 ② 報行率 ① 従事用の場に無別 ② 概算人件費 一名が機構者 で見りによった。 一名が機構者 で見りによった。 で見りによった。 では、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは	0.00	/ 0	0.00 0.00 0.00	0.13 7万 /	二次 二次 / 0 7万	1(2公表時 10 公表時 0.0	0 0 0 0,0000 2,500 0 0 7,500 0 0 1記載 0,000 記記載 0,040	0	13	/ R2 / /	177 114 4 111	0 0 0 0 4,000 8,934 4,666 0 0,400 0 0	R3 /	予算:(32	編成時記入 文公表時) / (0 最終目 21万 0	0 0 0 0 0 0
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	区分 ① 当初下予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充当額 ② 配手の機等 ② 報行率 ① 従事用の場に無別 ② 概算人件費 一名が機構者 で見りによった。 一名が機構者 で見りによった。 で見りによった。 では、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは	0.00	/ 0	0.00 単位 m ¹ o	0.13 0.13	二次 二次 / 0 7万	1(/公表時 1(/公表時 0.0	0 0 0 0,0000 0,0000 0,7,500 0 0 0,000 記載 0,000 1,040 1,040	0 0	13	/ / R2 // R2	177 177 14 111	0 0 0 0 4,000 8,934 4,666 0 0,400 0 0	R3 / / R3	予算: (32) 000	編成時配入 欠公表時) / 0 最終目 21万 0 最終目	0 0 0 0 0 0
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	区 分 ① 当初下予算 ② 補正予算 ③ 繰越下計(①~③)) ① 一般財 出金 ③ 府支債 ⑤ その他特財 ① 流配当額 ② 執行管理解(の表別) ② 取り は、	0.00	/ 0	0000000000000000000000000000000000000	0.13 0.13 775 /	二次 二次 / 0 7万 0	1(2公表時 10 公表時 0.0	0 0 0 0,0000 2,500 0 0 7,500 0 0 1記載 0,000 記記載 0,040	0	13	/ R2 / /	177 114 4 111	0 0 0 0 4,000 8,934 4,666 0 0,400 0 0	R3 /	予算:(32	編成時記入 文公表時) / (0 最終目 21万 0	0 0 0 0 0 0
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	区分 ① 当初下予算 ② 補 越 予 算 ③ 繰越 下 予 算 前 年 度 繰越 下 十 (1 ~ 3) ① 一般財	0.00	/ 0	0.00 単位 m ¹ o	0.13 0.13	二次 二次 / 0 7万 0 (18	1(/公表時 1(/公表時 0.0	0 0 0 0,0000 0,0000 0,7,500 0 0 0,000 記載 0,000 1,040 1,040	0 0	13	/ / R2 // R2	177 177 14 111	0 0 0 0 4,000 8,934 4,666 0 0,400 0 0	R3 / / R3	予算: (32) 000	編成時配入 欠公表時) / 0 最終目 21万 0 最終目	0 0 0 0 0 0

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡計 評価の観点	評価	評価の理由
- X H		HI IIM	・一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の確保の必要性は高い。
	・市民や社会の二一ズを的確に捉えた事業か		
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・新たな処分地の確保に比べ、現処分場の嵩上を行うことでコスト削減を図る。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標、活動目標については各年度の予定工事を実施し、段階的に埋立容量の拡大を 図っていくことを目標としている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	第1期・第2期埋立処分場エリアの嵩上整備 た。	に伴い、第	11期埋立処分場の最下流の越水防止対策として、土堰堤の築造と遊水池・仮排水を整備し
	1-0		
事業の目的及び			
指標等の達成状況に 対する定性的評価			
対するたけの計画			
		A 10 (A)	
			5間に、第1期・第2期の埋立が再開できるよう、事業進捗を促進する必要がある。 5第4期埋立処分場整備計画を進めていく必要がある。
ニャナマの細胞では			
これまでの課題及び 今後の方向性			
_ Ⅵ 二次評価	(事業所属外による他部署評価	i)	
古後部 ケー・ハコ			関係の表現を表現しています。 (対象事業のみ)
事後評価コメント		李 录	長計画夫他伎に記載(対象争系のみ)
	 えた次年度事業方針		·
All #J Im 5 121.9	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
			At the district of the party of
担当課の 事業の見直し			
及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映			
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
了异以吹和米	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 19 清掃管理-般事業

所属 05050000 市民総務部 生活環境課

事業担当

(単位:千円)

所属長 井上 和成

会計情報	事業コード 540119 款 04 衛生費 項 02 清掃費 目 01 清掃総務費 会計 01 一般会計 決算付属資料 頁
施策体系	施策コード 040503 施策名 リサイクルとごみ処理対策を推進する
計画期間	開始年度 昭和50年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名
根拠法令等	
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 □ その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合
関連事業	
事業基礎	青報
事業目的 (あるべき姿)	廃棄物処理等の市民サービスを充実させるために、環境パークの運営に関する一般行政事務を円滑に進めることを目的としている。 一般事務に要する予算を一括することで、円滑な予算管理が進み事務の効率化を進める。
対象者	全市民 対象者数 77,122 単位あたりコスト 0.5
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()
委託先•実施主体等	
事業概要 (箇条書き)	 ・環境施策に関する調査回答、連絡調整など、全般的な事務を行った。(室の庶務、予算の管理、執行) ・全国都市清掃会議の年会費の負担、旅費など全般に渡る事務的経費を一括して賄う。
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載
── 予算執行	
, ,, ,,,	

	Z	分	R1 (評価前年原	变)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度	E)	R4	(要求年)	支)
	1	当初予算			3,301			2,814			3,125			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算		0 0 0										
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	To hi		6 0. 2
,	ト計	+(① ~ ③)			3,301			2,814			3,125		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			3,301			2,814			2,218	,,	~~~	
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
脳	⑤	その他特財			0			0			907			
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			3,301			2,814			0			0
情 報	3	執行額			3,110		二次:	公表時記載			0			0
ŦIX		執行率			94.2%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	4.73	/	0.39	4.71	/	0.39	4.71	/	0.39	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		38,815				38,655			38,655			0
	トータルコスト (予算執行額+概算人件費)				41,925			38,655			38,655			0

一个不识记小													
成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
成果実績 (アウトカム)		0		/	0	/	0	0	/	0	/	0	0
実績/目標		0		/	0	/	0	0	/	0	/	0	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動室籍	文書処理件数	件		826/700	886	/	700	886	/	700	/	700	700以下
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	4.0		3.5							
実績/計画				/	0	/	0	0	/	0	/	0	0
		単位あたり	コスト	0.0									

項		目 Tan / Im /	● 兼 担 当 所 偶 内 による目 亡 評 評価の観点	評価	評価の理由
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた		・環境行政事務の円滑な実施のために必要な事業であり、市民サービスの充実につながっ
			事業か]	ている。事務を進める上で必要な事業である。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・コスト削減に努めることが必要であり、最低限の経費で済むよう事務の効率化などに心が けている。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・活動実績は文書処理件数としている。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			円滑な事務執行や、市民サービスの充実と	いう目標の	達成状況を評価する適切な指標の設定が難しい。【定性的評価】
事業の 指標等の 対する	り達成	状況に			
			無駄をなくすため、必要な事務処理と必要な	経費の見	極めを行い、経費節減に努める。
これまで 今後	o課 の方I				
اا کا کا	 二次	:評価(事業所属外による他部署評価	i)	
	~\	I Imm (A SIGNIAND LI-OGRICAL SERIEM		
事後許	平価コ	メント		 事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
	. ,,-,-			- - -	
VII 🛊	评研	をふま	 えた次年度事業方針		
	, 100	,3 . &	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
相	当課(D			
事業	の見及び	直し			予算編成に記入
	要求				(3次公表時)
\/m \	2 M	· /	Λ , H		
		反映紀	活 果 □ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予:	算拡充 □ 予算縮減
予算	反映	結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 13資源ごみ集団回収報要事業

(単位:千円)

事業担当		民総務部 生活環境	t課 		所原	長 井上 和成	
会計情報	事業コード 540113 款	04 衛生費	項 02 清掃費	目 02 じん芥ク	処理費 会計	01 一般会計 決算化	村属資料 頁
施策体系	施策コード 040503 旅	策名 リサイクル	とごみ処理対策を推進	する			
計画期間	開始年度 令和3年度	終了予定年度	和12年度 関連計画	名 福知山市-	一般廃棄物処理基	基本計画	
根拠法令等	福知山市資源ごみ集団回]収団体報奨金支約	合要綱				
事業区分	□ 法定受託事務 🛛	国府補助事業	□ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 口 その他	()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/億	木止 口 他事業	へ統合 口 他事業	を統合			
関連事業							
	 青報						
事業目的 (あるべき姿)	各種市民団体の自主的な会、老人会などの団体に、の大切さを認識している(よる回収活動を通し	て、子どもから高齢者				
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☑ 直接実施 □ 業績	務委託 □ 指別	定管理 🗆 補助金	交付 □	その他()
委託先•実施主体等	登録団体						
事業概要 (箇条書き))の集団回収に対し、資源 ごみの減量、リサイクルを
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務	内容	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	載		

|| 予算執行状況

	Z	分	R1 ((評価前年)	度)	R	2(評価年	度)	ı	R3(本年月	₹)	R	4(要求年)	度)
	1	当初予算			5,475			4,928			4,780			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	TP 84		6 0.2
,	小計	h(①~③)			5,475			4,928			4,780		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			2,738			2,464			2,390	,-		• •
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			2,737			2,464			2,390			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			5,475			4,928			0			0
惰報	3	執行額			5,267		二次	公表時記載			0			0
TIA	4	執行率			96.2%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13	/	0.00	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		1,040				1,280			1,280			0
		マルコスト f額+概算人件費)			6,307			1,280			1,280			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	リサイクル率		%	17.3 / 22.6	16.4	/	25.3	14.7	/	25	/	16	25
実績/目標	年間1人当たり	Jごみ排出量	kg	154 / 146	156	/	141	152	/	138	/	192.4	138
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	資源ごみ集団回収量		t	1,846/ 2,809	1756	/	2843	1365	/	2882	/	1713	2882
(アウトプット)	単位あたり		コスト	3.0		3.0							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0			•						

項		<u> </u>	神来担当	評価	評価の理由
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた		・子ども会、PTAなど多くの団体が登録しており、この制度は市民に定着している。
			事業か		・この事業による回収量は、市全体の再資源化量に大きな割合を占めている。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・集団回収により処理されることで、本市のコスト削減が図られる。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。・他の多くの市町村でも実施されており、その取組みを参考にしている。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
					ごみの持込み量を減らすことに貢献しており、処理費用の削減やリサイクル率の向上につな が必要であるが、年々減少傾向にあるため、活動意欲を高めるための啓発等の方策を検討し
事業の 指標等の					
対する					
					実施団体の増加や環境意識の向上を目指しながら、報奨金単価について、回収量、引き取
			り価格、及び他市町村の状況から総合的に 	判断し、最	適なバランスについて検討する。
これまで	の世	顧 功パ			
今後	の方	向性			
VI	二次	評価(事業所属外による他部署評価	i)	
事後許	平価コ	メント		事業	幹評価実施後に記載(対象事業のみ)
' VII ≹	評価	をふま			
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課(
	の見 及び				予算編成に記入
予算	要求	方針			(3次公表時)
\ mu	منيد و	· 1.)	11. 52		
VIII ~	了算	反映紀	結 果 ┃ □ 現状維持 □ 廃止/休止		算拡充 □ 予算縮減
予算	反映	結果	□ 枕外椎符 □ 焼エ/ バエ □ 焼 車業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 18 不法投棄防止パトロール事業 |

(単位:千円)

争来担当	所禹	05050000	巾氏総務部	5 生活境	見詸						开上 和放	
会計情報	事業コード	540108	款 04 衛生	E費	項 02 清	掃費	目 02 じ	ん芥	処理費	会計 0	1 一般会計 決	算付属資料
施策体系	施策コード	040503	施策名	リサイクル	レとごみ処 エ	里対策を推進	する					
計画期間	開始年度	令和3年月	度 終了予	定年度	6和12年度	関連計画	名 福知	山市-	一般廃棄物	処理基本	計画	
根拠法令等	廃棄物の処	1理及び清	掃に関する	法律								
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府補	i助事業	□ 市単	独事業 🛛	内部庶	务的事	業 口 その	D他 (•)
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事業	業へ統合	□ 他事業	を統合					
関連事業												
事業基礎	青報											
事業目的 (あるべき姿)		防止には	、早期発見			地域環境への可欠であるた				の回収を	行うことにより、	不法投棄防止対策の充実と
対象者	全市民						対象を	旨数	77,1	22	単位あたりコ	スト 0.0
実施方法	□ 直接実活	施 🗸	業務委託	口指	定管理	□ 補助金	交付		その他	()
委託先·実施主体等	公益社団法	长人福知山	市シルバー	-人材セン:	ター・社会社	冨祉法人しあ	わせネッ	トワー	·ク			
事業概要 (箇条書き)						ルを実施し、 察と連携して				里する。 ま	た、回収した不続	去投棄物の内容を調査し、不
	支出に係	る主な費目	支出	実績(R2)					主な	は業務内容	*	
主な支出に係る 業務内容と経費						=	次公表	時記	載			
予質劫行	———— 											

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年	度)	R	3(本年度	()	R4	(要求年)	变)
	1	当初予算			4,004			4,037			4,049			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0		· ^=	
	小計	†(① ~ ③)			4,004			4,037			4,049		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			2,002			2,019			2,025	,,,	<i>~</i>	7
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			2,002			2,018			2,024			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			36		二次	公表時記載			0			C
算	2	配当予算			4,040			4,037			0			C
惰報	3	執行額			4,015		二次	公表時記載			0			C
ŦIX	-	執行率			99.4%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.18	/	0.04	0.03	/	0.04	0.03	/	0.04	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		1,540				340			340			C
		マルコスト 「額+概算人件費)			5,555			340			340			C

成果実績	抖	É	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	回収量			t	7 / 0	6	/	0	5	/	0	/	0	0
実績/目標			()	/	0	/	0		/	0	/		0
	抖	i	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動車績	パトロール	パトロール回数			236 / 236	218	/	218	218	/	218	/	218	218
活動実績(アウトプット)			単位あたり	コスト	21.9		18.4							
実績/計画					/	0	/	0		/	0	/		0
			単位あたり	コスト	0.0									

「項		<u>. e i im (</u>	事 兼 担 当 所 禹 内による目 C 評価の観点	評価	評価の理由
- 7		-	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	B1 1144	・ポイ捨てを含めた不法投棄の防止は生活環境の保全のためには必要性が高い。
			事業か		・自治会等による地域美化活動では、回収しきれない。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	o 0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	5	・成果目標、活動目標は最終的に不法投棄が無くなることを目標としている。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			パトロール活動は目標どおり実施し、不	法投棄ごみを回	回収することで不法投棄行為を抑制し、生活環境の保全に努めたことは評価できる。
事業の 指標等の 対する	達成	状況に			
			不法投棄が無くなることを目標としているロール活動により、回収を継続する必要		回収と再発の繰り返しであり、効果的な対策を検討しつつ、生活環境の保全のためには、パト
			ロール活動により、凹収を極続する必要	ະທາ ທ ຈຸ	
-4	· • •	FF 72. + ¢			
これまで 今後	の方向				
\ <u>\</u> \\	- Y	並(紙(事業所属外による他部署部	2年)	
VI ~	<u> </u>	. PT 1114 (ず米川崎川による100円名町	IW /	
事後評	「価コ	メント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
\/II ਤੋ	亚红	なこ士	 えた次年度事業方針		
VII P	1 100	۳٬۱۰۳	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
J-1	11/ FM -				
事業	当課の見				予算編成に記入
	及び 要求フ	方針			(3次公表時)
VIII ³	予算	反映約			
	反映和		□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
7男	从吹	4A	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

1 子木州山													
事業名	30 環境衛	生対策事業	ţ										
事業担当	所属	05050000	市民総	外部 生活	環境課					所属	長 井上 和成	ţ	
会計情報	事業コード	520130	款 04	衛生費	項	01 保優	建衛生費	目	03 環境衛生費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	策コード 040101 施策名 災害に対する危機対応力を強化する											
計画期間	開始年度	始年度 平成元年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名											
根拠法令等													
事業区分	□ 法定受	託事務	口 国府	莳補助事業	Ø	市単独	事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 原」	上/休止	□ 他誓	事業へ終	充合	□ 他事業	を約	在 合				
関連事業													
事業基礎	情報			•			•		_			•	
	災害に備	えて衛生消	毒機器	を整備する	とともに	こ消毒液	を等を備蓄し	٤,٠,٤	災害発生後は消毒作業	を実施	することで感染	セ症などの防止	に努め市民の衛

事業基礎	報	
事業目的 (あるべき姿)	災害に備えて衛生消毒機器を整備するとともに消毒液等を備蓄し、災害発生後は消毒作業を実施することで感染症などの防止に努め市民 生状態を良好に保つ。 また、蜂の駆除を行う市民に対し防護服を貸し出すことで、蜂の巣の安全な除去により市民生活の安全性を確保する。	の衛
対象者	全市民対象者数77,122単位あたりコスト0.0	
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()
委託先•実施主体等		
事業概要 (箇条書き)	災害に備えた衛生消毒機器の整備 衛生消毒液の備蓄・更新 災害発生後の衛生消毒業務 蜂駆除防護服の貸し出し	
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容	
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載	

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	支)	F	3(本年度)	R	4(要求年)	度)
	1	当初予算			587			468			393			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0			. .
,	小計	h(1)~(3)			587			468			393	予] (:	ቑ編成時 3次公表₩	記人 供)
予	1	一般財源			587			468			393	,,	<i>-</i> //	147
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
別	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			△ 47		二次:	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			540			468			0			0
惰報	3	執行額			83		二次:	公表時記載			0			0
¥		執行率			15.4%		二次的	公表時記載						
人概	1	(正職員/嘱託職員)	0.07	/	0.00	0.06	/	0.00	0.06	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		560			·-	480			480			0
		マルコスト デ額+概算人件費)			643			480			480			0

IV 業績指標

成學字籍	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
成果実績 (アウトカム)		0		/	0	/	0		/	0	/		0
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動車績	蜂駆除防護服	貸出件数	件	29	106	/	0	40	/	0	/	0	0
活動実績(アウトプット)		単位あたり:	コスト	23.6		8.0							
実績/計画	消毒実施件数		件	758	0	/	0	0	/	0	/	0	0
		単位あたり:	コスト	0.9	,	•	•						

▼ 項		<u>. 81 1111 (</u>	事業担当所属内による日 評価の観点	評価	評価の理由
- ~		-	・市民や社会のニーズを的確に捉えた		・災害に備えるために必要な事業である。
			事業か	_	
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施する。 できない事業か	_ c	
			・目的・目標の達成手段として適切で 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・災害に備えた準備を行うことで、災害に対する早期対応が図れる。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		《中の担性』を止して担べない。」、ウ目の世来とにここしは《中の日知品内にすかる
			・成果目標は理にかない、実績は適ち 把握・測定されているか	חוכ	・災害の規模も発生も予想できないが、定量の備蓄を行うことは災害の早期対応に有効である。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか 災害に備え衛生消毒剤の備蓄と消毒		T1-422-148-75-4
事業 <i>の</i> 指標等の 対する	り達成	状況に	及告に哺え衛生/月寿和の哺畜と/月寿 豪雨や台風による災害で発生した浸 蜂の駆除を行う市民に対し、防護服を 【定性的評価】	水被害に対し、消	毒作業の早期対応することができた。
			 予期せぬ災害に備え消毒薬の備蓄と	消毒器具の整備	実施を継続する。
これまで 今後	で の方i		蜂駆除防護服の適正な更新により維	持管理に努める。	
VI 3	二次	評価(事業所属外による他部署	評価)	
事後評	平価コ	メント		事業	注評価実施後に記載(対象事業のみ) -
VII ∄	評価	をふま	えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
事業	当課(の見) 及び 要求ス	直し			予算編成に記入 (3次公表時)
VIII 3	予算	反映紀	告果		
予算	反映都	結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	□ 予:	算拡充 □ 予算縮減) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

1 事末間正													
事業名	21 環境保	全一般事業	ŧ										
事業担当	所属	05050000	市民総務部	8 生活環	環境課					所属:	長 井上 和成	ţ	
会計情報	事業コード	520121	款 04 衛	主費	項(01 保優	建衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	040502	施策名	公害対策	策を充実	ミさせる	5						
計画期間	開始年度	平成16年	度 終了予	定年度	令和4	年度	関連計画	名	第2期福知山市環境基	基本計画	1		
根拠法令等	環境基本	法、公害紛争	争処理法、	騒音規制	法、悪具	臭防止	法、水質汚	濁	坊止法、福知山市附属	機関設	置条例		
事業区分	☑ 法定受	託事務	□ 国府初	助事業	∠ ī	市単独	事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 原」	上/休止	□ 他事	業へ統	合	□ 他事業	を統	充合				
関連事業			•	•	•								
	青報		•	•	•				•				

尹未杢啖	r fix						
事業目的 (あるべき姿)	市民、事業者の環境意識環境公害発生時には、そ						
対象者	全市民			対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指別	定管理 □ 補助金	交付 🗆	その他 ()
委託先•実施主体等	(一社)京都微生物研究所	´Ţ・ダイワエンジニア	'リング(株)播磨分析セン	/ター・㈱環境ラ	テクノス		
事業概要 (箇条書き)	環境パーク施設見学、環 公害苦情発生時に現地 事業所の公害発生施設 市内で大気汚染、水質汚 騒音規制法第18条に基づ に面する地域の騒音暴露	査、発生源への指 設置届出に関して、 濁、悪臭公害が懸 き、市内幹線道路	導等の苦情処理を行 法令に基づき指導、受 念される地域において	う。 理する。 環境測定を行し	い、状況を監視する。		主する騒音に対して道路
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容		
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	載		

Ⅲ 予算執行状況

	Σ	区分		(評価前年)	变)	R	2(評価年	度)		R3(本年度	:)	R4	(要求年)	芰)
	1	当初予算			1,623			1,707			3,085			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	₹ ₩	· 4元 - 14. 14.	en n
	小言	+(1)~(3)			1,623			1,707			3,085	7 J. (3	編成時 次公表[記入 詩)
予	1	一般財源			1,623			1,707			3,085			**
第	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	(5)	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			656		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			2,279			1,707			0			0
情	3	執行額			1,311		二次	公表時記載			0			0
TIX	4	執行率			57.5%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員 / 礪託職員)	1.47	/	0.00	1.48	/	0.00	1.48	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		11,760				11,840			11,840			0
		タルコスト 行額+概算人件費)			13,071			11,840			11,840			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	事業所公害苦	情発生件数	件	7 / 22	16	/	22	19	/	22	/	22	22以下
実績/目標		0		0	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	環境測定箇所	数	箇所	15 / 15	14	/	14	12	/	12	/	12	全必要箇所
(アウトプット)		単位あたり	コスト	13.3		93.6							
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0		•							

予算反映結果

□ 他事業を統合 (統合事業名:

□ ▼ 一次評価(・	・他) 評価	評価の理由
		BT IM	・公害苦情処理は、法令に基づき行政で実施する必要がある。公害に苦しむ市民の要求に
必要性	 ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、 	0	応えるものであり、優先度は高い。市民への啓発も必要である。 ・環境測定は、環境公害について以前より懸案となっている地域において、実施するものであり、市民ニーズに応えるものである。騒音については、国の法定受託事務である。
	優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・環境保全の啓発資材や環境対策関連会議の旅費など最低限必要な経費のみである。啓発活動は、費用のかからない施設の利用などコスト削減に取り組んでいる。・環境測定には国家資格や高価な測定機器が必要であり、業者委託が最も効率がよい。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が	0	・委託価格も、市販の積算図書の価格以下であり、妥当な価格である。
	・コスト 削減 や 効率化に 同じ た 工 天 か 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果目標は、過去の実績から設定した目標である。 ・府下の公害苦情担当者会議などで他市の公害事象などの情報交換を行っている。 ・環境測定は、測定時期、場所などは、地元希望も聞きながら行っている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	第4次総合計画策定時の実績から事業所く ただし、法に抵触していない案件が多く、完		生件数の指標を設定しているが、事業所に対する市への苦情件数は目標を達成できている。 きず継続となる案件が増える傾向にある。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
これまでの課題及び 今後の方向性	要であり、市民一人ひとりの実践も重要でなどれだけの成果があったかについての判断 政指導ができず、事業者努力を促す継続第 ・測定結果が毎年基準値内であることを確	らるため、引 が難しい部 件となり、 忍し、最終的	あり、継続して取り組まなければならないが、市民・事業者側の環境保全に対する意識も重 き続き環境保全への取り組みを強めていく必要がある。ただ、取り組みの結果については、 8分もあるが、公害苦情については、法令違反を明確に確認できない事例が多くあり、強い行 根本的な解決に及んでいないケースが増えていることが課題である。 切には地元住民の不安を完全になくしていきたい。 業の環境対策の強化、低公害型設備の導入などを指導していくこととする。
	 事業所属外による他部署評価	5)	
	子来が個外による心で有可し	1)	
事後評価コメント		事業	t評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
└────────────────────────────────────			
マー マークマック	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート (単): 千円)

Ī	事業属性	,				•									
	事業名	18 公衆便所	管理事業												
	事業担当	所属 05	5050000 ਜੋ	市民総務部	生活環	境課					所属長	井上 利	1成		
	会計情報	事業コード 5	520118	款 04 衛生	費	項 01	保健衛生費	目 03	環境衛	生費	会計	01 一般会	計 決算付属	属資料	
	施策体系	施策コード 03	30502	施策名	下水道等	を適切に	維持管理する	5						'	
	計画期間	開始年度	昭和28年月	度 終了予	定年度	令和3年	度 関連計画	画名							
	根拠法令等	廃棄物の処理	理及び清掃	帚に関する	法律第5	条第6項									
	事業区分	□ 法定受託	事務	□ 国府補	助事業	☑市і	単独事業 □] 内部原	務的事	業口を	の他	(
F	3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃止		□ 他事	業へ統合	□ 他事刻	業を統合							
	関連事業														
Ш	事業基礎	 告部													
	事業目的 (あるべき姿)		到ノ二・内言	記六丁目及	び野家)	の清潔保	持に努め、市	民その他	也の利用	に供する	ことで、市	民の衛生理	環境を保全で	する。	
	対象者	全市民						対象	含数	77	,122	単位あ	たりコスト		0.0
	実施方法	□ 直接実施	. 2 :	業務委託	口指	定管理	口 補助金	金交付		その他	(
委託	f.先·実施主体等	公益社団法人	人福知山市	カシルバー											
	事業概要 (箇条書き)														
		支出に係る	る主な費目	支出?	実績(R2)					主	な業務内	容			
	な支出に係る 務内容と経費						:	二次公	表時記	載					
業		状況					Ξ	二次公	表時記	載					
業	務内容と経費		(評価前年	-度)			(評価年度)	二次公	表時記		本年度)		F	R4(要求年	F度)
業	務内容と経費予算執行区分① 当初予算		(評価前年		53			二次公 ⁴			本年度)	491	F	84(要求年	F度)
# 	務内容と経費予算執行:区分①当初予算②補正予算		(評価前年		53 0						本年度)	491	F	84(要求年	F度)
#	務内容と経費予算執行区分① 当初予算		(評価前年					559			▶年度)		F	84(要求年	F度)
# 	務内容と経費予算執行:区分①当初予算②補正予算		(評価前年		0 0 0			559 0 0			本年度)	0	F	84(要求年	F度)
学	予算執行 予算執行め① 当初予算② 補正予算③ 繰越予算		(評価前年		0			559 0			本年度)	0			
学	予算執行 区分 ①当初予算 ②補正予算 ③繰越予算		(評価前年	5	0 0 0			559 0 0			本年度)	0 0	7 -1	算編成時	寺記入
学	予算執行 区分 ①当初予算 ②補正予算 ③繰越予算 前年度機越 次年度機越		(評価前年	5	0 0 0 0 53			559 0 0			▶年度)	0 0 0	7 -1		寺記入
第	予算執行 区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 亦年度機越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金		(評価前年	5	0 0 0 0 53 53			559 0 0 0 0 0 559			本年度)	0 0 0 0 491	7 -1	算編成時	寺記入
第	務内容と経費 子 算 執 行: 区 分 ① ① 当初予算 ② ② 補正予算 ③ ③ 繰越予算 亦年度繰越次年度繰越次年度繰越 小計(①~③) ① ① 一般財源		(評価前年	5	0 0 0 0 53 53 0			559 0 0 0 0 559			本年度)	0 0 0 0 491 491	7 -1	算編成時	寺記入
第	予算執行 区分 ①当初予算 ②補正予算 ③繰越の事件度機越の次年度機越の次年度機越の大計(①~③) 小計(①~③) ①一般財源 ②国支出金 ③府支出金 ④地方債		(評価前年	5	0 0 0 0 53 53 0 0			559 0 0 0 559 559 0			本年度)	0 0 0 0 491 491 0 0	7 -1	算編成時	寺記入
第	務内容と経費 予算執行 公分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 亦年度機越 次年度機越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財		(評価前年	5	0 0 0 0 53 53 0 0		(評価年度)	559 0 0 0 559 559 0 0			本年度)	0 0 0 0 491 491 0 0	7 -1	算編成時	寺記入
第	務内容と経費 予算執行 区分野 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越 次年度機越 小計(①~③) ① 一般財出金 ③ 府支出金 4 地方の他特財 ① 流充用額		(評価前年	5 5 5	0 0 0 0 53 53 0 0 0			559 0 0 0 0 559 559 0 0			本年度)	0 0 0 491 491 0 0	7 -1	算編成時	寺記入
第	济内容と経費 予算執行 区分野算 ② 補越越が下り第二十分です。 ③ 繰越越が少年度機越が上の一般財出出金 ③ 府支し、計計(1)~3) ① 一般財出出金 ③ 中方方他特財 ① たのた用額 ② 配当事		(評価前年	5 5 5	0 0 0 0 53 53 0 0 0 0		(評価年度)	559 0 0 0 559 559 0 0 0			本年度)	0 0 0 491 491 0 0 0	7 -1	算編成時	寺記入
→ 予算情報 予算財源内訳 決算情	济内容と経費 予算執行 区分 ① 当初下予算 ② 繰越整 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財出金 ③ 府立支債 ⑤ その他特財 ① ご配当所額 ② 執行額 ② 執行額		(評価前年	5 5 5 4	0 0 0 0 53 53 0 0 0 0 0 0 0 53		二次公表	559 0 0 0 0 559 559 0 0 0 0 0 0 0 0 0			本年度)	0 0 0 491 491 0 0	7 -1	算編成時	寺記入
第	務内容と経費 予算執行 区 分 分 第年 ② 繰越 次年度機越 小計(①~③) ① 一般支 支 支 行 他財 出 出 金 ③ 中地方方 他特額 ② む 我 行 を 記 我 行 率 ② 配 計 行 率 ③ 執 執 行 率	R1(5 5 5 5 4 89	0 0 0 0 53 53 0 0 0 0 0 0 53	R2 (二次公表 二次公表 二次公表	559 0 0 0 559 559 0 0 0 時記載 559 時記載		R3(x		0 0 0 491 491 0 0 0 0	₹ 1	算編成時 3次公表	寺記入 (時)
第 三 予算情報 予算財源内訳 決算情報 概	務内容と経費		/	5 5 5 4	0 0 0 0 53 53 0 0 0 0 0 0 53		二次公表 二次公表 二次公表	559 0 0 0 559 559 0 0 0 時記載 559 時記載	0.0			0 0 0 491 491 0 0 0 0 0	7 -1	算編成時	寺記入
→ 第	務内容と経費 予算執行 区 分 分 第年 ② 繰越 次年度機越 小計(①~③) ① 一般支 支 支 行 他財 出 出 金 ③ 中地方方 他特額 ② む 我 行 を 記 我 行 率 ② 配 計 行 率 ③ 執 執 行 率	R1(5 5 5 5 4 89	0 0 0 0 53 53 0 0 0 0 0 0 53	R2 (二次公表 二次公表 二次公表	559 0 0 0 559 559 0 0 0 時記載 559 時記載	0.0	R3(x		0 0 0 491 491 0 0 0 0	₹ 1	算編成時 3次公表	寺記入 (時)

∨ 業績指標

17 不规节小													
成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
	公衆トイレ数		箇所	3	3	/	3	3	/	3	/		1
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動室籍	稼動日数		П	349	366	/	366	365	/	365	/	365	365
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	1.7		1.4							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

項			→ 来担当所属内による目に 評価の観点	評価	評価の理由
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた	H I IIM	・公衆便所の管理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項「市町村は、必要
			事業か		と認める場所に公衆便所及び公衆用ごみ容器を設け、これを衛生的に維持管理しなければ ならない。」に基づく事業である。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	<i>σ</i> Ο	でいるとのことをランチ末とのもの
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・公衆トイレにおける定期的な清掃及び不具合等のチェックを行うことで、衛生的な維持管理が図れる。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・公衆トイレの清潔保持に努め、市民その他の利用に供することで、市民の衛生環境の保全が図れている。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			公衆トイレの清潔保持に努め、市民その	他に対して公	衆トイレの利用を供することができた。
事業の 指標等の					
対する					
			引き続き市民その他に対して公衆トイレ 	の利用を供する	るため、継続して衛生的に維持管理を行う。
これまで					
今後	の方向	竹性			
VI 3	二次	評価(事業所属外による他部署評	価)	
事後評	「価コン	メント		 事 <u>非</u>	禁評価実施後に記載(対象事業のみ)
\/11 \	TE /	+	ことなた中中を		
VII à	干恤	な かま	えた次年度事業方針 方針区分		評価を踏まえた見直し内容
			757		NI MEMONINALIA
事業	当課の				文符信心 7
	及び 要求力	量			予算編成に記入 (3次公表時)
,					
VIII -	予算	反映約			
予 質	反映新	中	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
r st	人收料	H-A-	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 15 狂犬病予防注射接種事業

(単位:千円)

争来担当	所属 05050000 市民和	総務部 生沽填現課				川 偶長	开上 和成	
会計情報	事業コード 520115 款 0-	4 衛生費 項 01 保	健衛生費	03 環境衛生	生費	会計 0	1 一般会計 決算	付属資料
施策体系	施策コード 040403 施領		社会を推進す	る				
計画期間	開始年度 昭和25年度 編	終了予定年度 令和3年度	関連計画名	i -				
根拠法令等	狂犬病予防法							
事業区分	☑ 法定受託事務 ☑ 国	国府補助事業 🗆 市単独	虫事業 □ □	的部庶務的事	業 □ そσ)他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休.	止 🛘 口 他事業へ統合	□ 他事業を	統合				
関連事業								
事業基礎性	青報							
_	狂犬病予防法に基づく狂犬	病の予防接種を実施し、市	民の安心安全	全な生活を図る	3.			
事業目的 (あるべき姿)								
(めのへご安)								
対象者	市内で飼育されている犬			対象者数	約4,2	00 TE	単位あたりコス	0.3
		**					年位のだりコスト	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務		□ 補助金多	₹付 □	その他	()
委託先·実施主体等	京都府獣医師会へ一部委託	Ŧ						
	犬の登録管理 ○狂犬病の予防接種の委託	ŧ.						
	〇定期集合狂犬病予防注射	肘の実施。						
事業概要								
(箇条書き)								
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な	業務内容	F	
主な支出に係る								
業務内容と経費			=2	火公表時記	載			
111 TO ANY 11 7 - 1	D							

Ⅲ 予算執行状況

	区 分		R1(評価前年度)			R	2(評価年	度)	F	R3(本年度	E)	R4(要求年度)			
	1	当初予算			2,870			2,015			1,957				
予	2	補正予算	0		0					0					
算情	3	繰越予算	(0	0			0						
報		前年度繰越	0				0			0					
		次年度繰越			0			0			0	TP /n		.	
,	小計(①~③)				2,870			2,015	1,957			予算編成時記入 (3次公表時)			
₹	1	一般財源	170					0	0			(UX A X 1447)			
	2	国支出金	0					0	0						
算財源	3	府支出金	195			192			175						
内	4	地方債			0	0			0						
泥	⑤	その他特財	2,505		1,823			1,782							
決	① 流充用額				47		二次	公表時記載			0			0	
算	2	配当予算			2,917			2,015			0			0	
情報	3	執行額			2,666		二次	公表時記載			0			0	
ŦX		執行率			91.4%		二次	公表時記載							
人概	1	(正職員/嘱託職員)	0.25	/	0.00	0.18	/	0.00	0.18	/	0.00	0.00	/	0.00	
工算	2	概算人件費		2,000				1,440			1,440			0	
	トータルコスト (予算執行額+概算人件費)				4,666			1,440			1,440			0	

成果実績	指 標		単位	H30	R1		R2			R3		最終目標	
(アウトカム)	予防接種率		%	78	77	/	85	72	/	100	/	100	100
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動車績	予防接種頭数		頭	3174	3125	/	4200	3030	/	4200	/	4200	4200
活動実績 (アウトプット)		単位あたり	コスト	0.8		0.9							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0		•							

項		ТШ (事業担当所属内による日 評価の観点	評価	評価の理由								
- 7			・市民や社会のニーズを的確に捉え		・狂犬病予防法により、狂犬病の感染拡大を阻止する必要がある。								
		性	事業か	_									
必	要 性		・民間事業者や市民が自ら実施する できない事業か	O									
			・目的・目標の達成手段として適切で 優先度の高い事業か										
		性	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・登録者への案内方法等、低コストで実施できるよう検討を行っている。								
効	率 性		・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0									
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		マササチェ1000/ナケナ ゲサナフェルジエルウマナカログレンバラナのマナフ								
			・成果目標は理にかない、実績は適 把握・測定されているか	初に	・予防接種率100%を達成、維持することが狂犬病予防法の目的に沿うものである。								
有	効 性	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0									
			・先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか		なっているが、本市では約80%と高い水準を保っている。しかし、毎年微減傾向にあるた								
			位入柄で防圧射接種率は京都府至1 め、100%接種を目標に接種率の向										
		_											
事業の)目的及()達成状:												
対する	定性的評	価											
			4月に集合注射を実施しており、件数 の注射件数を含め、全体の注射率を		度となっている。京都府内の市町村の中では集合注射の実施頭数が一番多いが、開業医で まを検討する必要がある。								
これまで													
今後(の方向性	Ė											
VI -	二次評	価(事業所属外による他部署	評価)									
		ds.L											
吉 纵 87	: E=/ \ .		東参照原史体後に記載(分名東参のな)										
争使計	価コメン	' '	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)										
· VII हे	平価を	ふま	えた次年度事業方針										
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容								
#8:	当課の												
事業	の見直し				予算編成に記入								
	及び 要求方針	ł			(3次公表時)								
VIII - 3	VⅢ 予算反映結果												
	反映結果		□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予:	算拡充 □ 予算縮減								
r și	人心和尔	•	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:								